

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE新築(簡易版) 2010年 大阪府版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010oskv1.4

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	小野菜品工業株式会社島本寮	階数	地上3F
建設地	大阪府三島郡島本町青葉一丁目10	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用、法22条地区	平均居住人員	80人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	5,616時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年5月 竣工	評価の実施日	2014年2月26日
敷地面積	2,116 m ²	作成者	野村建設工業㈱入江陽子
建築面積	1,228 m ²	確認日	2014年3月1日
延床面積	3,422 m ²	確認者	野村建設工業㈱辰巳茂



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>3階建、鉄筋コンクリート造の寄宿舎です。外観は柵目ルーバーと豊かな植栽帯により周辺環境との調和をはかっています。また、駐輪場・駐車場を敷地内に可能な限り確保しました。建物内部に関しては、寮室の遮音性の向上と北側寮室においては吹抜の採光通風(北側寮室)による心地よい室環境づくりに努めています。コミュニティスペースは照明、仕上材等により親しみやすい空間を演出しています。また、中廊下は吹抜により明るい空間となっています。</p>	0
<p>Q1 室内環境 内装材は全面的にF☆☆☆☆の建材を使用し空気室環境の向上をはかっています。また、寮室は壁・建具等配慮して遮音性能の向上に努めています。寮室の天井高は2.65mと開放的な空間となっています。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) アプローチは緑地を多くとり、駐車場側に柵目ルーバーを設けて駐車場の車から視線をそらし心地よい空間づくりに配慮しています</p>
<p>LR1 エネルギー 吹抜による自然通風・採光で省エネルギー化をはかります。LED照明を積極的に採用しました</p>	<p>LR3 敷地外環境 寮室数に対する十分な駐輪スペースを確保しています。敷地内ですれ違える駐車場を確保し交通負荷の抑制に努めています。</p>
<p>Q2 サービス性能 また建物内外において段差の少ない計画としてバリアフリーの整備に努めました</p>	
<p>LR2 資源・マテリアル 建物の維持・更新を簡易にできるように努めライフサイクルCO₂の削減を目指しました</p>	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】	建物名称	小野薬品工業株式会社島本寮		
	建設地	大阪府三島郡島本町青葉一丁目1061番1		
	用途/区分	集合住宅		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B+
	CO2削減			3
	省エネ対策			3
	みどり・ヒート アイランド対策			3
	エネルギー消費量の報告			対象外

【評価項目】					
省エネルギー対策		① CO2削減			
		② 省エネ対策			
項目	評価内容	スコア	評価		
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.0	3		
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体	3.0	3
			住戸・宿泊	3.0	
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.0		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	—		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.0		
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	—		
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策			
項目	評価内容	スコア	評価		
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3		
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0			
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0			
その他					
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項			
特に配慮した事項					